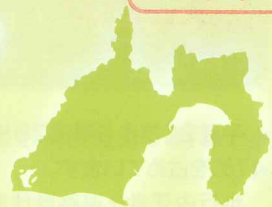




交通しずおか

～ Traffic Shizuoka ～



平成31年1月発行
No.207

発行：一般財団法人 静岡県交通安全協会・静岡県交通安全活動推進センター
静岡市葵区鷹匠二丁目5番7号交通会館ビル tel.054-251-4765(代) fax.054-251-4779

みんなで支え合う 交通安全活動

～ 交通安全協会の活動にご支援・ご協力を～

悲惨な交通事故を防止していくため、県民一人ひとりが力を合わせて交通安全活動を推進していきましょう。

交通安全協会では、運転免許証更新時に窓口で交通安全協会へのご入会をお願いしています。

ご入会時には、会費を頂いておりますが、その貴重な会費は地域の交通安全活動に活用されています。

交通事故から大切な命を守る活動にご理解とご支援をお願いします。



一般財団法人 静岡県交通安全協会

会長 酒井 公夫



副会長
寺崎 恒雄



副会長
原川 久



副会長
中村 嘉宏

平素から当協会の活動にご理解、ご支援をいただいております。県下の交通安全協会各地区支部の役員および会員の皆様に、深く感謝申し上げます。

また、各地域においてボランティアとして各種の交通安全活動に献身的に尽力され、交通事故の防止に多大な貢献をされています関係各団体の皆様方には、心から敬意を表する次第であります。

さて、昨年8月に開催された「第53回交通安全子供自転車全国大会」に出場した本県代表の「浜松市立平山小学校」が団体の部で優勝、並びに文部科学大臣賞を受賞しました。これは本県の子供に対する交通安全教育のレベルの高さを表すものであり、子供たちが成長し、運転免許証を取得して自動車を運転するようになった際には、子供のときに受けた交通安全教育の成果として、交通事故の減少につながると大いに

期待しております。

当協会の平素の活動としましては、県内の交通事故の発生実態を踏まえ、「おもいやり、ありがとう」を理念とする重点施策として

○高齢者と子供の事故防止対策
など6つの対策を定め、安全で安心できる県民生活を実現するため、交通安全教室や街頭指導、テレビ・ラジオ等を通じるなどした交通安全広報、啓発活動を強力に展開し、引き続き警察や関係機関・団体、各地域のボランティアの皆様との連携のもと、「第10次静岡県交通安全計画」に掲げる、交通事故死者抑止目標100人以下、人身事故発生件数抑止目標30,000件以下の達成に努力してまいり所存であります。

結びに、皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成25年から平成29年までの5年間の高齢者の交通事故死者(図1)424人を状態別でみると歩行者が最も多く198人で全死者の47%を占めています。

歩行中死者を道路形状別でみると、単路の横断が76人と最も多く、昼夜別では、夜間の発生が昼間の2.8倍(図2)となっています。また、夜間の単路横断中事故の歩行者の方向は、車から見て「右からの横断」が「左からの横断」の3.3倍も多く発生しています。

図1 高齢者の交通事故死者状態別(H25-29)

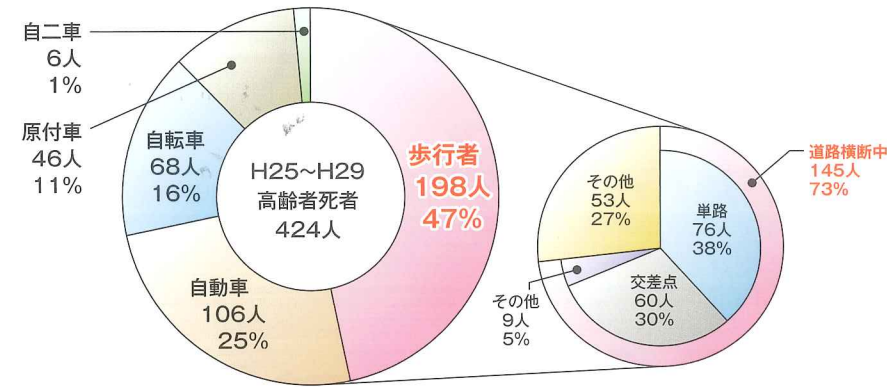
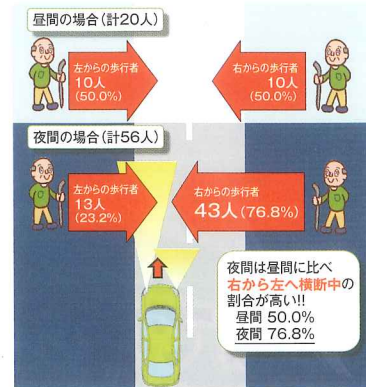


図2 高齢歩行者の道路横断中(単路)の死亡事故(H25-29)



このようなことから警察では、高齢歩行者の交通死亡事故防止対策として、歩行者の方には、「反射材の着用・懐中電灯などの照明器具の携帯」と「信号機や横断歩道がある場所を横断する」、ドライバーの方には、「早めのライト点灯とハイビームの効果的な活用」を呼び掛けるなど、夕暮れ時から夜間における歩行中の交通事故防止対策に取り組んでいます。

高齢運転者の支援

○運転免許証自主返納者へのサポートの輪が広がっています。

運転免許自主返納者サポート店
運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けた方が、「サポート店」で証明書を提示すると、割引などのお得なサービスを受けられます。
※詳しくは県警ホームページをご覧ください。



【ステッカーが目印】

○高齢者の身体機能等の低下が原因となる交通事故が多発しています。

- ・運転に不安を感じる方やその家族の方
 - ・運転免許証の返納に関すること
- など、お気軽にご相談ください。

高齢運転者支援ホットライン
☎054-250-2525
受付時間：平日 午前10時～午後5時



交通事故のない安全・安心な静岡県を目指して

静岡県警察本部 交通部長 山城 達也



皆様には、平素から交通安全活動をはじめ、警察業務各般にわたり、格別な御理解と御支援を賜りますことを、誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成30年中の県内の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少し、死者数については、前年を大幅に下回り、昭和28年以降最少となりました。

しかしながら、高齢化の進展に伴い、高齢者が関係する交通事故の割合が年々高くなっているほか、子供の登下校中の交通事故が後を絶たないなどの課題も見られるところであります。

警察では、第10次静岡県交通安全計画で掲げられた

平成32年末までに年間死者数100人以下 人身事故発生件数30,000件以下

の目標達成に向け、「子供と高齢者の事故防止対策」を重点に、貴協会をはじめとする交通関係機関・団体等と連携して、各種対策を推進して参りたいと考えております。

交通事故防止対策は、自治体、関係機関・団体、地域が警察と連携し、官民一体となって取り組むことが重要であります。

日頃、それぞれの地域における交通安全活動の牽引役として、交通事故防止に貢献していただいている皆様方におかれましては、今後も引き続き、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

交通荣誉章緑十字金章・同銀章並びに交通安全優良団体等表彰

平成31年1月17日、東京都文京シビックホールにおいて、「第59回交通安全国民運動中央大会」が開催され、交通荣誉章「緑十字金章・銀章」、交通安全優良団体、優良事業所、優良学校等に対する表彰が行われました。

表彰を受けられた皆様(団体等)は次のとおりです。おめでとうございます。

多年にわたる交通事故の防止活動に深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

交通荣誉章緑十字金章

(警察庁長官・一般財団法人全日本交通安全協会会長連名表彰)

【交通安全功労者】



森脇 清様
藤枝地区支部



大野 栄子様
浜松中央地区支部



町田 廣行様
浜松東地区支部



伊東 昭藏様
水窪地区支部

【優良運転者】

交通荣誉章緑十字銀章

(警察庁長官・一般財団法人全日本交通安全協会会長連名表彰)

【交通安全功労者】

- 渡邊 英雄様 沼津地区支部
- 青野昭七郎様 静岡中央地区支部
- 伊藤 貞子様 藤枝地区支部
- 田中みつ江様 島田地区支部
- 寺田五左衛門様 磐田地区支部
- 清水 佳彦様 天竜地区支部
- 間瀬きぬよ様 浜松東地区支部

【優良運転者】

- 稲葉 安雄様 下田地区支部
- 山田 正春様 熱海地区支部
- 川村 俊美様 富士地区支部
- 秋山 金次様 島田地区支部
- 佐藤 幸夫様 掛川地区支部
- 小島 安様 袋井地区支部
- 飯塚 稔様 磐田地区支部

交通安全優良団体・事業所・学校・交通安全協会

(一般財団法人全日本交通安全協会会長表彰)

【優良団体】

静岡県交通安全協会裾野地区支部裾野分會
(会長 永田 國博様)

【優良事業所】

大富運輸株式会社
(大木 理暁様)

【優良学校】

吉田町立住吉小学校
(校長 鈴木 寿夫様)

【優良交通安全協会】

静岡県交通安全協会天竜地区支部
(支部長 長谷川 智彦様)

2019年使用 交通安全年間スローガン入賞者決定!

交通安全年間スローガンは「交通事故ゼロ」を願い、一般財団法人全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催で実施され、静岡県からは毎年多数の応募があります。

これまで、最優秀賞を受賞するなど、静岡県民の交通安全に対する意識の高さを全国に示しております。今回は、全国から寄せられた5万点余の応募作品の中から、静岡県内から応募のあった2点が入賞しました。

おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

■内閣総理大臣賞(最優秀作)

☆一般部門 A (運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの)

チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席

☆一般部門 B (歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの)

危険だよ スマホに夢中の そこの君

☆子ども部門 (中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの)

とび出さない いったんとまって みぎひだり

■県内の受賞者

☆文部科学大臣賞(子ども部門)

自転車と いつも一緒 ヘルメット
静岡市立長田南小学校6年 竹田 ひなの様

☆佳作(子ども部門)

うしろでも シートベルトを つけようね
小山町立成美小学校4年 岩田 優恵様

平成30年11月28日
毎日新聞掲載

交通安全指導員になって

清水地区支部
指導交通安全指導員 加藤 知奈津



私が交通安全指導員になろうと思ったのは、高校生のとき、下校中におきた出来事がきっかけです。
私が自転車で自転車も通行できる歩道を走っていた時、対向から近隣の高校生5人が自転車に乗って、横一列に広がって走ってきました。
高校生達は私に気付いていないのか、列を崩すことなく近づいてきました。
歩道いっぱい広がって走る自転車にどうしようもなく、私は歩道の隅に避け自転車を停め、その高校生達に道を譲りました。
その高校生達は、横に広がったまま走って行ってしまいました。
その時、「もし、お年寄りや小さい子供だったら交通事故になっていたのではないか。」と思うと非常に怖くなると同時に、「あの高校生達は交通ルールを知らないのかな。知らないのだったら教えてあげられたら良いのに。」と思いました。
そして、交通安全教育を業務とする交通安全指導員になって、一人ひとりにルールやマナーを教え、交通事故が起きないようにしたい。」と、この仕事を目標しました。
今は、小学校、中学校及び高校などで自転車の交通ルールを教えたり、交通事故を起こしてしまった際の責任などについての広報活動をしています。
また、街頭でも自転車利用者への自転車の安全利用を呼びかけています。
並進走行、一時不停止、車道右側通行などの交通違反をする自転車を見かければ声を掛け、正しい走行方法の説明をしています。
自転車を利用する方は、「自分だけは交通ルールを守らなくても交通事故にはならない。」と思っている方が多くいるように感じます。
改めて「自転車も交通事故を起こせば、相手に対し責任を負わなければならない。そのためにもルールやマナーを守った行動が大切だ。」ということを皆に呼びかけていきます。
交通ルール・マナーを守り、思いやりの心を持って自転車を利用すれば、自転車の交通事故を減少させることができると思います。
これからも、交通事故を一件でも減らすための交通安全活動を行っています。

静岡県交通安全協会各地区支部の交通安全活動紹介

～安全をつなげて 広げて 事故ゼロへ～

下田地区支部

ピカッと広報

地区支部役員は、夕暮れから夜間の交通事故をなくそうと、下田駅前交差点で、車には「早めのライト点灯」を、歩行者には「反射材の積極的な着用」を呼びかけました。



大仁地区支部

修善寺道路で交通安全広報

各季の交通安全運動初日に、修善寺道路大仁料金所を通過する車両に対して啓発品を配布しながら安全運転を呼び掛けています。



三島地区支部

入学おめでとうキャンペーン

地区支部役員や交通安全指導員は、三島市及び函南町内で行われた小学校の入学式において、正しい横断歩道の渡り方を説明したり、黄色い傘を贈呈しています。



伊東地区支部

高齢者宅訪問活動を実施

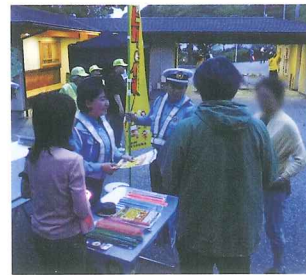
関係機関と合同で、交通安全運動期間中に高齢者宅を訪問し、交通事故防止のポイントや振込め詐欺防止等の呼びかけを行いました。



熱海地区支部

ピカッと大作戦 ～見て、聞いて、感じるリフレクション～

地区支部役員らが、熱海梅園で開催された「螢の夕べ」のイベントに参加し、来場者に反射タックルバンドを配布しながら反射材の効果を体験してもらったり、反射材の着用及び重要性を呼びかけました。



沼津地区支部

高齢者に対する交通安全広報活動

交通安全イベント「グッドマナーカレッジ2018」を開催し、沼津市・清水町在住の高齢者を対象に自転車の安全利用や夕暮れ時から夜間における事故防止を呼びかける交通安全劇を披露しました。



裾野地区支部

親子で学ぶ交通安全in ウェルディ長泉
ウェルディ長泉に会場した親子を対象に、交通安全釣りゲームに挑戦してもらったり、オリジナル信号反射キーホルダーを作成してもらうなどして、楽しみながら交通安全を学んでもらいました。



御殿場地区支部

交通安全入学おめでとうキャンペーン

地区支部役員や交通安全指導員は、入学式に出席する親子に対して、正しい横断歩道の渡り方などを再認識してもらう啓発活動を実施しました。



富士地区支部

交通関係機関合同街頭広報

飲酒運転・無免許運転やひき逃げ事故の根絶を目指し、富士地区安全運転管理協会と合同の横断幕を作成して街頭広報等に活用しています。



清水地区支部

横断幕「学童多し注意！」 子供の交通事故防止

各地区分会役員らが、清水区内にある小学校の通学路に横断幕「学童多し注意」を設置し、ドライバーや地域住民に、子供の交通事故防止を呼び掛けました。



富士宮地区支部

高齢者宅訪問で 交通事故防止を呼びかけ

高齢者の交通事故を防止するため、高齢者宅を訪問し「歩行時・運転時の事故防止」や「夜間の交通事故防止(反射材を着けて)」などを呼びかけました。



静岡中央地区支部

自転車事故の怖さを知る!

中学生を対象に、スタントマンによる自転車交通安全教室を実施しました。迫力ある交通事故の再現に、生徒は自転車事故の怖さを実感していました。



静岡南地区支部

静岡県交通安全協会 一斉街頭指導

地区支部役員約50名と交通安全指導員が合同で街頭広報を実施しました。多くの市民に早めのライトオンや反射材着用を広報しました。



焼津地区支部

中里居場所カフェ里 高齢者対象交通安全講習

地区支部役員や交通安全指導員は、高齢者の交通事故防止を図るため、高齢者の皆さんと反射神経トレーニング等の体験型交通安全講習を行いました。



藤枝地区支部

飲酒運転根絶キャンペーン

各季の交通安全運動期間中に各地域の分会員を中心として、スーパーマーケットなどで来場者を対象に飲酒運転根絶キャンペーンを実施しています。



島田地区支部

クリスマス交通安全教室を開催

保育園児を対象に、クリスマス交通安全教室を行いました。参加した園児は、地区支部役員や交通安全指導員と共に交通安全の願いを込めた短冊を飾り付けました。



牧之原地区支部

交通安全子供自転車 牧之原地区大会の開催

児童に交通ルールやマナーや自転車の走行技能を学んでもらい、交通事故防止を図るため、小学校4校6チームが出場し、学科テストと実技テストを競う地区大会を開催しました。



菊川地区支部

高校サイクリストリーダー委嘱式

支部長は、高校生の自転車事故を防止するため、管内の高校を自転車安全利用校に指定し、他の学生の模範となってもらうように依頼するとともに、学校長に横断幕を手渡しました。



掛川地区支部

交通安全が合言葉

交通安全運動期間中、地区支部役員や交通安全指導員が、歩行者や自転車利用者に対して啓発品を配布しながら夕暮れ時から夜間にかけての交通事故防止を呼び掛けました。



森地区支部

桃太郎体操(替え歌)

高齢者の交通教室に童謡「桃太郎」の替え歌を使った体操を取り入れています。多少の間違いはご愛敬、フレッシュな指導員の笑顔が参加者の笑顔を引き出します。



袋井地区支部

交通安全運動に伴い地区支部役員が街頭広報

地区支部役員は、各季の交通安全運動期間中、管内の主要交差点に立ち、通行車両に安全運転を呼びかける街頭広報を実施しています。



磐田地区支部

飲酒運転根絶キャンペーン

夏の交通安全県民運動期間中に遠鉄ストア見付店で飲酒運転根絶キャンペーンを実施しました。多くの買い物客に飲酒運転根絶や交通安全について呼びかけました。



天竜地区支部

今日からわたしも1年生

気田小学校の入学式の様子です。交通ルールを守って安全に学校に通ってほしいことを願って見守っていきます。



水窪地区支部

高齢者交通安全講習会

長野県境に近い長尾地区から交通安全教室開催の要請があり、交通安全指導員が初めて交通安全教室を実施しました。この地区は三遠南信道の工事車両の通行が増えてきました。



浜松東地区支部

相生こども園七夕交通安全教室

相生こども園の園児が、交通安全の願いを書いた七夕飾りをプレゼントしてくれました。交通安全指導員からは、園児に対して交通ルールを説明し、警察署玄関に作った天の川の横断歩道を渡ってもらいました。



湖西地区支部

交通安全子供自転車湖西大会の開催

自転車運転技術を向上することを目的に、湖西市にあるアメニティプラザで自転車の安全な乗り方を競う大会を開催しました。湖西市内の各小学校の代表選手が出場し、競技を通じて交通安全意識を高めてもらうことができました。



浜北地区支部

「無事かえる」願いを込めた手作りマスコット

地区支部女性部役員は、交通安全啓発品として信号の色にちなんだ3色の「無事かえる」マスコットを手作りし、イベント会場で来場者に配付しました。



細江地区支部

児童館&福祉センターまつりで交通安全広報

地区支部役員らは、三ヶ日町総合福祉センターにて開催された「児童館&福祉センターまつり」に交通安全ブースを設け、来場した約750人を対象に、交通安全クイズや標識クイズを通して、楽しみながら交通安全意識の向上を図りました。



「交通安全 守って・護ってキャンペーン」

～無くそう横断歩道上の交通事故～ 交通ルール・マナーを守る 交通事故から大切な人の命を守る

歩行者の聖域とされる横断歩道上での交通事故が後を絶ちません。道路交通法では、横断歩道を渡ろうとする人がいる場合は一時停止をしなければならない、横断歩道に接近するときは直前で停止できるような速度で進行する義務などの保護規定があります。

交通安全協会では、横断歩道上の事故ゼロを目指し、「交通ルールを守る」ことが人の命を守る、「交通安全守って護ってキャンペーン」を展開しています。

平成31年も引き続き、子供と高齢者の事故防止を重点に、「おもしろいありがとう」を理念とした交通徳の普及に努めます。



浜松市立平山小学校 交通安全子供自転車全国大会で 優勝と文部科学大臣賞 受賞

平成30年8月8日(水)、東京ビッグサイトで開催された、第53回交通安全子供自転車全国大会(主催:全日本交通安全協会、警察庁)に、県大会優勝の平山小学校が出場しました。

この結果、団体の部で優勝(47都道府県中)及び、学科試験と法規走行優秀により文部科学大臣賞(1校のみ受賞)を受賞しました。



自転車を安全に安心して利用するために

自転車は手軽で便利な乗り物ですが、わずかな見落としや判断の遅れなどで、交通事故を引き起こすことがあり、自転車側にも高額な賠償を求められるケースがあります。

自転車の点検整備をしてTSマーク(付帯保険)を貼りましょう!

「TSマーク」は、自転車販売店で自転車安全整備士が点検・整備した自転車に貼ってもらえるマークであり、安全(点検・整備)・安心(付帯保険)な普通自転車のしるしです。TSマークには付帯保険が付いているので、交通事故にあった場合でも安心です。保険の有効期間は1年です。



傷害補償	●入院15日以上の傷害 (一律) 10万円 ●死亡・重度後遺障害(1~4級) (一律) 100万円
賠償責任補償	●死亡・重度後遺障害(1~7級) (限度額) 1億円
被害者見舞金	●入院加療15日以上の傷害 (一律) 10万円

自転車会員に入会してサイクル安心保険に加入しましょう!

(一財)全日本交通安全協会の自転車会員に入会すると、会員サービスとして万が一の自転車事故に備えた「サイクル安心保険」に加入できます。保険期間は1年です。加入プラン、手続き方法は、ホームページからまずは検索してください。

全日本交通安全協会自転車会員 検索

電話でのお問い合わせは、
取扱代理店インシュアランスサービス
TEL 0120-691-744



自転車整備店はこのマークが目印です。



～ 交通安全協会会員特典 ～

- 特典1 運転免許証失効(更新忘れ)防止通知** 運転免許証の有効期限が差し迫った会員に、ハガキで更新確認の通知をしています。
- 特典2 優良運転者の表彰** 無事故・無違反の優良運転者の方に、優良運転青銅賞から緑十字金章まで、8段階の表彰を行っています。
- 特典3 E-Mail情報サービス(無料)** 交通安全情報の配信、交通事故・運転免許証等に関する質問や相談に応じます。
- 特典4 交通安全グッズ等の進呈** 免許証ケースや、反射材など交通事故防止に活用できるグッズを進呈します。
- 特典5 会員優待サービス制度** 交通安全協力優待店をご利用の際は、割引購入やポイントUPなどが受けられます。



交通安全協力優待店

当協会の会員の方が、優待店でお買い物などする際に「会員証」を提示しますと、割引などの会員優待を受けられます。ぜひご利用ください。
 現在までの優待店の業種は、次のとおりです。詳細な優待店の最新情報は、当協会のホームページをご覧ください。
 なお、優待店は変更となる場合がありますのでご注意ください。

語学・教育講座	住宅・リフォーム	家具	学生服	ホテル・旅館
靴	アルコール検知器	カー用品	自動車学校	スポーツ用品
博物館・美術館 ・水族館	レストラン 飲食店	家電	レジャー施設	自動車 自動車買取
お菓子	お茶	介護	洋服・呉服	旅行
ギフト商品	事務用品	ヘア ビューティーサロン	食品・雑貨	引越
眼鏡	各種療法 (カイロプラクティック等)	ガソリンスタンド ・燃料	温浴業	自転車
陶器	フィットネス	写真館		

※優待店の最新情報は、
交通安全協会ホームページ
から確認できます！



「運転適性検査」を受けてみませんか！

- 交通安全協会では交通事故防止活動として「運転適性検査」を行っています。
- 検査により、あなたの運転が

じっくり型

せっかち型

バランス型
(安定型)

直線型
(戸惑い型)

等のタイプ等に判定され、交通事故防止のためのアドバイスを受けることができます。

- 検査方法は、ペーパー方式で7つの検査項目を行い、所要時間は約50分です。

検査料は、

受験者数	金額(お一人様・税抜)
1人～20人未満	1,500円
20人～50人未満	1,000円
50人～100人未満	900円
100人～200人未満	800円
200人以上	700円

- 個人でも団体でも受験できます。

まずは、

(一財)静岡県交通安全協会 講習部
電話(054)251-4765

にお問い合わせください。